

明日に向かつて

ともに創る

80

大船渡市長 戸田公明

復興事業は、スピード感で取り組み、

期間内完了を目指します

大震災から7年半が経過し、国の復興期間終了まで残すところ2年半になりました。別な言い方をすれば、復興庁からの復興交付金については、あと2年半以内に費消し、復興を終えなければならぬということです。

復興期間以後の復興事業については、地元負担が急増加します。財源難の折それは何と少しでも避けなければなりません。

また、復興交付金は決定からそれを費消するまで1年くらいかかりますので、復興交付金申請は平成31年度が最終だと考えておくべきです。従って残りの復興事業については、今後1年半で復興庁と交付金協議を終える必要があるということ意識する必要があります。

ところで、市の復興事業は256事業ですが、平成29年度末で210事業が実質的に完了し、現在残り46事業に取り組んでお

ります。これらを復興期間内に完了させるためには、今までと同じ速さで復興事業に取り組み続けなければなりません。

復興事業と同様に、特に重要であると感じているのが次の3点です。

- ・市中心部の土地区画整理事業
- ・内の民有地を全て活用していただくこと(まちの賑わい)。
- ・各地の被災跡地(市買取地も有り)をできる限り広く活用すること。
- ・経済規模・市民所得・出生率

など市民生活を震災前より高いところに軟着陸させることです。

さらには、復興も終盤を迎えている今、復興の総仕上げについても意識して取り組んでいかねばなりません。復興事業を終わらせながら、復興の総仕上げとして、復興の終盤にふさわしい新たな事業をも同時に行ってまいりたいと考えています。

それは何かというと
大震災直後からの復旧・復興を始めるまでの間に作成された実物記録の中で、後世に残すべき価値ある資料を選定し博物館などに保管することです。

- ・10年間の復興記録をまとめ、印刷・発行することです。
- ・復興期間10年間にはこだわらないものだと思いますが、大震災でお亡くなりになられた方々の慰霊碑とか教訓碑の建立の準備をしておくことも大切ではないかと思えます。
- ・主に県で進めている海岸防潮堤が、近隣の景観と少しでも調和するよう、植樹・ストリートアートなど創造的な工夫をすることです。

国内外の多くの方々から多大な支援・励ましをいただきましたが、復興を契機に支援いただいた方々との間で関係人口交流を始めることです。

このように、残りの復興期間内に終わらせなければならぬことは、たくさんありますが、市民の皆様と一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力方よろしくお願い申し上げます。

すこやか子育て カメラクラブ(乳幼児学級一般公開)

親子であそぼう!! ~手作りおもちゃフェスティバル~

本年は、いわて子どもあそび隊による親子ふれあい遊びや身近にある材料を使っておもちゃ作りをします!また、岩手県立福祉の里センターの皆さんによるバルーンアートコーナーもあります!

普段、なかなか一緒に遊ぶ時間のないパパやおじいちゃん、おばあちゃんとの参加もOKです。家でお子さんと一緒に工作を楽しみきっかけ作り、ぜひ家族みんなで遊びに来てください。

参加の事前申し込みは不要です。参加を希望する人は、当日、直接カメラホールにお越しください。

- ▷ 期日 = 10月27日(土)
- ▷ 時間 = 午前10時~正午
- ▷ 会場 = カメラホール1階多目的ホール
- ▷ 対象 = 乳幼児学級生と市内の未就学児とその家族
- ▷ 参加料 = 無料
- ▷ 協力 = いわて子どもあそび隊、岩手県立福祉の里センター

■運営協力中高生ボランティアを募集します

一般公開のイベント運営に協力いただける中高生を下表のとおり募集します。

子ども好きの人、ボランティア活動に興味のある人、将来保育士や社会教育関係の仕事を目指している人など、乳幼児とのふれあいを楽しんでみませんか?



▷ 申込先/問い合わせ先

中央公民館 (☎ 263166 / ☎ 265903)

日程	内容	備考
10月27日(土) 9:30~12:00	乳幼児学級【一般公開】 親子であそぼう!! ~手作りおもちゃフェスティバル~ についての運営協力	運営サポートや親子活動の補助など
▷ 募集人数 = 20人程度		
▷ 申込締切日 = 10月19日(金)		

